

一般質問



本多 健信 議員 (自・末)

ホテル誘致の取組みについて

①日本を訪れる外国人客の増加によりホテルが不足しているが⑦品川区内における宿泊施設の利用状況について、どのように把握しているのか。

④短期、中期、長期にわたる需要と供給について、どのように捉えているのか。⑦積極的に品川区へホテルを誘致する取組みが必要では。②大井競馬場の敷地内にホテルを誘致できないのか。③大井競馬場の周辺に限定して、ホテルを誘致できないか。④将来に向けた市街地再開発事業とホテル誘致との関わりについて、所見を。

区長 ①観光庁による宿泊旅行統計調査から情報を得ている。④客室数は微増であるのに対し、宿泊者数は大きく伸びており、中長期的にも現状以上の宿泊者が続くと思定される。⑤民泊の活用等による当面の対応とともに、旅館・ホテル事業者や開発事業者に対し、ホテルの誘致を要請していく。②競馬場内は都市計画法上の制限があり、新たな施設の建築は難しい。③土地所有者に直接申し入れる機会を作っていく。④事業者が計画を立てる上で、魅力とにぎわいのある都市空間を必要とする場合などは、ホテル等の宿泊施設や商業施設の設置による相乗効果を含め、ま

ちづくり方針に沿って事業が実施されるものと考ええる。

建築における附置義務について

①東京都駐車場条例が改正され、区部における共同住宅および大規模事務所に係る駐車施設の附置義務台数が緩和された。また、既存建築物について、区長の認定により、必要とされる台数まで低減し、駐車場位置を変更できることとなった。建築物のオーナーへの周知等、何か工夫ができないか。

都市環境部長

①これまでにも利用実態に応じた既存建築物の駐車台数の相談に対し、個別の事情に応じながら、適切なアドバイスを行ってきた。制度変更を知っていただくことが第一と考えており、窓口相談に加え、区ホームページや周知チラシを作成し、個別の事業者に対し積極的に周知を図っていく。

事故等の防止対策について

①近年、交通死亡事故は減少しているが、高齢ドライバーによる死亡事故は高じまりしている状況である。区は運転免許の自主返納をサポートしているが、これまでの状況

と取り組みの強化策など、どのように考えているのか。②スプレー缶の収集を発火の原因とする清掃車両の火災事故が、品川区においては平成27年度だけで4件発生した。更なる安全性向上のため、清掃車両へのウォータミスト消火の導入等の対策を。③2020年のオリンピック・パラリンピックは、近年猛暑日が続く7月末から9月初めにかけて開かれる予定だ。気候変動の影響はスポーツにも及ぶが、猛暑対策にどのように知恵を絞っていくのか。

防災まちづくり部長

①高齢者モデル地区での交通安全講習会、高齢者を対象とした広報紙での周知など、自主返納に向けた啓発を継続している。来年3月の改正道路交通法の施行を機に、より一層警察と連携を図り、交通事故防止および自主返納の啓発に努めていく。②ウォータミストは、車両内部のスプリンクラー機能による消火設備だが、清掃車の荷箱内ではちりやほこり等による目詰まりが危惧され、23区の統一基準では、導入は困難な状況となっている。今後も効果的な装備の検証を継続するとともに、収集方法の再構築と適正な排出の周知徹底を進めていく。③組織委員会において遮熱性舗装等の整備やクールスポットの創出など、大会における暑さ対策を具体例として挙げていく。区としても重要な課題と捉え、現在独自に取り組んでいる避暑シェルターの拡充を検討するとともに、国や都・組織委員会の動向を注視していく。



田中さやか 議員 (ネット)

品川区の公教育について

これまでどのように取り組んできたのか。②いじめ以外の重大事態が起こった場合、再発防止に向けた検証はどこで行うのか。③今、障がい者への理解を進める教育や多様な性を認め合おうという啓発、生き抜く力を育てる教育などが進められている。全て必要なことだが、その根底の「命の根源」について学ぶ機会を用意すべきでは。

教育次長

①自分や他者の命の大切さ、命には多くのつながりがあることなどを、市民科の中で発達段階に応じて系統的に学習している。②学校は校長を中心に聞き取り等の調査を行い、情報を収集し共有する体制を常に整えている。同時に教育委員会等と連携を図り、様々な対策を検討し、再発防止に努めている。③かけがえのない自他の生命を尊重する教育は、国語科の物語教材や理科の単元「人の誕生」等で実施している。今後市民科を中心に、命に関する認識を深めていく。

品川区の教育改革により、当初課題となっていた小学校と中学校の教員間の不信感解消され、子どもたちの人間形成の妨げは解消されたのか。②学校選択制や今後の学校改革等を検討する学事制度審議会が非公開で開かれたが、行政の説明責任を全うするためにも公開が適正では。③教育次長 ①小中学校の教員がともに授業づくりを行うことなどが日常的に行われ、教員間の信頼感は確実に高まっており、子どもたちの人間形成によりよい影響を与えていると考えている。②具体的な地域や学校名等を挙げた議論が予想されることなどから、周りからの影響を受けやすい環境の確保が重要であり、非公開が適切であると判断した。要点をまとめた議事録はホームページで公開している。

命を大切に教育について

①命を大切に教育に、

対して立場を主張する必要があるのである。

区長

①②③ TPP協定については様々な報道がされており、TPP協定発効による影響を不安視する声があることも認識している。TPP協定が発効した場合の区民生活や地方自治体に及ぼす影響について、今後の動向に注視し情報収集に努めていく。

羽田増便計画により、品川区上空を低空飛行するルート変更に対する品川区の姿勢について

①区は「国に対して様々な要望をしている」というが、具体的に何を要望したかを明確にしておかなければ、今後国交省との協議をする中で、事後の確認などができないと

考える。品川区の態度を明確にするためにも、様々な要望は文書化すべきでは。②国は自治体の意見を聞かなくても飛行ルートの変更は可能としているが、地方自治をないがしろにするものであり、区は国に抗議すべきでは。

都市環境部長

①都および関係区市連絡会幹事会の中で、文書化した要望を提出しており、区のホームページにも掲載している。②地域の皆様からいただいた意見や不安については国の発行するニュースレターに、品川区も含めた地域の意見として取りまとめられている。国による今までの安全対策や騒音影響などの説明が必ずしも十分とは言えないと考えており、より具体的な対策について説明を実施するよう、国に申し入れていく。



本会議傍聴 (浅間台小学校)